

## Hongwanji Buddhist Mission of Australia

# シドニー本願寺報

732 Pacific Highway Gordon  
PO Box 292 Lindfield (Sydney)  
N.S.W. 2070 AUSTRALIA  
Phone : (02) 9403-1256  
Mob : (0412) 396 - 014  
Email : hbma@optusnet.com.au  
http://www.hongwanji.com.au



### 日本からのお客様を迎え 「涅槃会」を厳修 2月10日(日)



涅槃会にお参りされた皆様と；(前列左から)久田津奈さん、奥山裕子さん、渡部開教使、三井ブラウン綾子さん、久田奈緒さん。(10/02/19)

オーストラリア開教事務所では、去る2月10日にお釈迦様の入滅を追悼する涅槃会をお勤めしました。その際、京都の半床庵(はんしょうあん)文化財団の理事長でいらっしゃる久田津奈様とメルボルンの大学で学ぶお嬢様の奈緒さんが、叔母様にあたる三井様と一緒に、お参り下さるとい有り難いご

縁を頂きました。

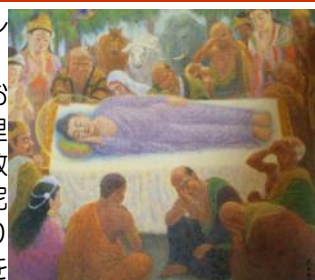
涅槃会は、お釈迦様の入涅槃、つまり仏教の開祖・釈迦牟尼仏がお亡くなりになられた事を追悼し感謝を捧げる法要です。

お釈迦様は、人間が一人一人が持つ煩惱、業(ごう)、そして苦しみなどから解放される道、人が人として生きることの根源的意味を明らかに示して下さいました。お釈迦様がこの世にお生まれになって覚った教えを弘めて下さったお陰で、私たちは仏の教え、仏教を学び仏道を歩むことができるのです。そのようなお釈迦様の遺徳に感謝を捧げるのです。

ここで言う「涅槃」とは単なる「死」を意味しているではありません。涅槃とはサンスクリット語の「ニルバーナ」を音訳したもので、もともと「火の消えた状態」

(2ページへつづく)

釈尊入涅槃図



来る3月24日に勤められます  
秋季彼岸会にお誘い合わせの上、是非お参り下さいませ！

(お昼はお持ちよりのポットラックです。宜しく願い致します。)

合掌

### もくじ

涅槃会を厳修	1-3
お寺の予定表	1
カウラ多文化祭	3
今月のことば	3
大震災復興支援イベント	4
クリーンアップオーストラリア	4
ご 懇 念 録	4

### ★ お寺の予定表 - Calendar ★

- Feb 24 (Sun) 11:00 am 日曜礼拝 / Sunday Service
- Mar 3 (Sun) 9:30am ~ クリーンアップ・オーストラリア・ディ / Clean up Australia Day @ Lane Cove National Park [ 日曜礼拝は休座 / No service at HBMA ]
- 10 (Sun) 11:00 am 三月祥月&東日本大震災物故者追悼法要 / March Shotsuki & Memorial Service for the Japan-quake deceased
- 11 (Mon) 4:00-9:00pm 東日本大震災復興支援イベント - TSU-NA-GU 8th Commemoration of the Great East Japan Earthquake and Tsunami of 2011 @ Sydney Mechanics' School of Arts (280 Pitt St Sydney)
- 15-17 (Fri - Sun) カウラ多文化祭 / Cowra Festival of International Understanding (Guest Nation - Japan) [ 日曜礼拝は休座 / No service at HBMA ]
- 24 (Sun) 11:00 am 秋季彼岸会 / Autumn O-Higan Service
- 25 (Mon) [ 本願寺報発行 / New Bulletin Issue ]
- 31 (Sun) 11:00 am 日曜礼拝 / Sunday Service
- Apr 7 (Sun) 11:00 am 花まつり法要 / Hana-matsuri Service English Guest Speaker: Rev Mark Healsmith



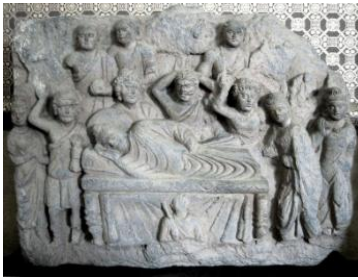


『…この法を  
灯火とし、抛  
り所とせよ。  
他の教えを抛  
り所としては  
ならない。  
(自灯明、法  
灯明/じとうみ  
う、ほうとうみ  
う)』

(お釈迦様の言葉より)



という意味を  
持っています。  
火は人間の欲  
望・煩惱を表し  
ていますので、  
その煩惱の炎を  
全て消し去って  
完全な悟りを開  
いた状態のこと  
を言うのです。



釈尊入涅槃の彫刻  
(ガンダーラ出土 2-3世紀)

シッダルダが王  
位を捨てて出家し、修行の末に35歳で覺  
者、目覚めた人と成った時をもって涅槃に達  
したという見方もありますが、人間として生  
きる以上、何らかの欲望は捨て切れていない  
はずであろうことから、人間としてのいのち  
の灯が消え肉体が減び、完全に煩惱の灯が消  
えた時、すなわち亡くなられた瞬間が「入涅槃」  
であるとされています。そして、完全に  
欲望が無くなった状態ということで「大般  
(だいはつ)涅槃」と呼び、永遠のやすらぎを  
得た状態のことを表わしています。

お釈迦様は入滅の前に次のように弟子たち  
に語られました。

「弟子たちよ、私の終りは既に近い。別離も  
遠いことではない。しかし、いたずらに悲し  
んではならない。世は無常であり、生れて死  
なない者はない。今私の身が朽ちた車のように  
壊れるのも、この無常の道理を身を持って  
示すのである。」

「弟子たちよ、今は私の最期の時である。し  
かし、この死は肉体の死であることを忘れて  
はならない。肉体は父母より生まれ、食に  
よって保たれるものであるから、病み、傷つ  
き、壊れることはやむを得ない。

仏の本質は、肉体ではない。さとりであ  
る。肉体はここに滅びても、さとりは永遠に  
法と道とに生きている。だから、私の肉体を  
見る者が私を見るのではなく、私の教えを知  
る者こそ私を見る。

私の亡き後は、私の説き遺した法がおまえ  
たちの師である。この法を保ち続けて私に仕  
えるようにするがよい。

弟子たちよ、私はこの人生の後半45年間  
において、説くべきものはすべて説き終り、  
為すべきことはすべて為し終わった。私には  
もはや秘密はない。内もなく、外もなく、全  
てみな完全に解き明かし終わった。

弟子たちよ、今や私の最期である。私は今  
より涅槃に入るであろう。これが私の最後の  
教誡である。」

35才でさとりを開き、説法を決意されて  
から45年間、インド東北部の各地に布教伝  
道されたお釈迦さまも80才のご高齢とな  
っておられました。お釈迦さまは自らの身体に

ついて、次のように付き添いのアナンダ(阿  
難)にむかって話しておられます。

「アナンダ  
よ。わたしはも  
う古い朽ち、齢  
をかさね老衰  
し、人生の旅路  
を通り過ぎ、老  
齢に達した。わ  
が齢は八十と  
なった。譬えば  
古ぼけた車が革  
紐の助けによってやっと動いて行くように、  
恐らくわたしの身体も革紐のたすけによっ  
て持っているのだ。」



(大般涅槃經)

その80才のお釈迦さまが、ラージャグリハ  
(王舎城)の靈鷲山から生まれ故郷のカピラ  
ヴァストゥに向かって旅行を決意されます。  
もちろん歩いて。すでにお釈迦さまは教団の  
ことは弟子たちに任せて、自らは隠居のよう  
になっておられたのでしょうか、旅のみちづ  
れは、ほとんどアナンダ(阿難)一人だけだっ  
たようです。お釈迦さまは教団(サンガ)に對  
して、自分が統率しているとか自分の所有で  
あるというようには考えておられませんでした。  
この旅路の途中で、お釈迦さまは、

「向上につとめた人は『わたくしは修行僧の  
なかまを導くであろう』とか、あるいは『修  
行僧のなかまはわたくしに頼っている』とか  
思うことがない。」(同上)

と、おっしゃられています。親鸞聖人は「弟  
子一人ももたず候ふ」という、『歎異抄』に  
引かれた親鸞聖人のことばを想起させること  
ばです。

お釈迦さまの旅は、それまでもそうであ  
ったように、旅先の各地でさまざまな人々に法  
をお説きになりながらのものでした。

お亡くなりになる当日、スバッタという行  
者がお釈迦さまの死期が近いことを聞きつけ  
て、お釈迦さまに会いに来ます。アナンダは  
お釈迦さまは疲れているといって拒絶しま  
すが、それを聞きつけたお釈迦さまはスバッタ  
に法を説かれました。感銘を受けた彼は出家  
し、お釈迦さまの最後の直弟子となったとい  
います。

お釈迦さまはアナンダをはじめとする修行  
者たちに告げられます。

「修行僧たちよ、お前たちは、おのおの自ら  
を灯火とし、自らを抛り所とせよ。他を抛  
り所としてはならない。この法を灯火とし、抛  
り所とせよ。他の教えを抛り所としてはなら  
ない。(自灯明、法灯明)」と。

さらにこう言われます。

(3ページにつづく)



「すべてのものはやがて滅びるものである。修行僧達よ、汝らは怠らず修行に務めなさい」



2015年にタイの涅槃寺でお釈迦様の涅槃像に礼拝。

これがお釈迦さまの最期の言葉であったと、経典では伝えています。仏教を開かれたお釈迦さまは、一人の人間として、安らかに最期を迎えられたのでした。お釈迦さまの死を入滅と言いますが、これがいつであったかについても、やはりさまざまな伝承があります。中国・日本では「二月十五日」を入滅の日とし、〈涅槃会〉の法要を催し、お釈迦様に感謝を捧げるのです。 合掌

オーストラリア開教事務所長

渡部 重信



## カウラで多文化祭が日本を招待国として開催！

期間：3月15日～17日



今年はカウラのブレイクアウトから75周年の記念の年です。

その記念すべき火に先立つ今年の3月に、1965年から続けられているというカウラの町

全体で他の国の文化紹介をする行事が行われるに際し、そのゲスト国に日本が選ばれ、パレードや屋台、ステージプログラムが三日間に渡り開催され、カウラは日本一色に染まります！日本は1966年以来二度目の招待国という栄誉を担っています。



昨年の招待国であったネパールの皆さんがパレードに参加する様子。



カウラ市からの呼びかけで、シドニーからは勿論、メルボルン、ブリスベン、ゴールドコースト、パース、等々のオーストラリア各地から日本人の有志がこの週末、カウラに集います。

土曜日(16日)の町のメインストリートを練り歩くパレードはこの祭りの最も盛り上がるイベントで、参加される皆さんは思いの日本のコスチュームでこのお祭りに花を添えることとなっています。

もし、この週末、カウラに行って日本を満喫するのは如何でしょうか？

合 掌

## 今月のことば



信心をあらわす  
御のりなり  
信心をあらわす  
御のりなり

親鸞聖人  
しんらんしょうにん  
いちねんたねんもんい



しんらんしょうにん

親鸞聖人

Shinran Shonin

(1173 - 1263)

*"To hear the Primal Vow  
indicates the heart  
that entrusts to Amida."*

《Notes on Once-Calling and Many-Calling》  
Ichinen tanen mon'i



真宗教団連合刊

「2019年 法語カレンダー」

Dharma Words より

## 復興支援イベントが今年も開催されます！



今年も3月11日がまたやって参ります。今年で8年目を迎えることとなりますが、まだまだ災害の被害から立ち直れていない地区、人々も多く、この災害を風化させないためにも今年も復興支援イベントが開催されます。今年は、シティにて4時から9時半まで催しが行われ、震災の起こった午後4時46分に合わせ黙祷を行います。その黙祷の前の読経を今年も担当させて頂く事となっておりますので、お時間のございます方は是非、会場まで足をお運び下さいませ。 合掌

## クリーンアップ・オーストラリアに参加しよう！



昨年度の全体集合写真

を綺麗にしよう、と言うイアン・キアナン氏の提唱で始まったこのイベントは、今では参加人数がオーストラリ

2019年度のクリーンアップ・オーストラリアが、来る3月3日(日)に催されます。

オーストラリアの公園や浜辺

ア最大のボランティア活動となっています。公園を散歩がてら、周りのゴミを拾ってみませんか？一年に一度のこのイベントは、誰もが気軽に参加できるものです。今回も、シドニー日本クラブ、シドニー日本人会の皆様と一緒にこのイベントに参加します。希望者は清掃活動後、BBQにも参加できます。



1. 日時：3月3日(日)  
午前9時半から11時半 清掃活動  
終了後BBQ(参加者は事前にお問い合わせ下さい)
2. 場所：レーンコーブ・ナショナル・パーク  
Lane Cove National Park
3. 集合：Lady Game Driveゲートから10分ほど入った場所(地図参照)
4. 持参物：手袋、帽子、日焼け止め、サングラス等  
＊通常、公園内は車の入場料が必要ですが、入口で、ク

リーンアップ・オーストラリアに参加する旨をお伝え頂ければ無料になります。

合掌



## ご 懇 念 録

## Expression of Dana/Gratitude



この一ヶ月間で、下記の方々より総計 1,960.00ドルのご懇志をご進納いただきました。有り難うございました。

また、お賽銭箱には、計10ドルが浄財として参拝者より喜捨して頂いておりました。この浄財は本願寺設立基金へ進納されました。有り難うございました。 合掌

In the past month, donations to the amount of 1,960.00 were offered to the Amida Buddha through the Hongwanji Buddhist Mission of Australia.

HBMA have also deposited \$10.00 to the Hongwanji Temple of Sydney Building Fund. The HBMA acknowledges the donors and would like to express our sincere gratitude to the following for their generous donations:

- \* Mr Hisashi Kato — Mr Shimon Kato's funeral
- \* Rev Mark Healsmith — Membership contribution
- \* Ms Tsuna & Nao Hisada — Special Donation
- \* Ms Hitomi Howard — Membership (One year) & Shotsuki Donation
- \* Ms Kaori Higashi — Oversea supporter membership (One year)
- \* Ms Ayako Mitsui-Browne — Donations
- \* JCS Printing Honorarium (Jan & Feb /2018)
- \* Buddhist Council of NSW — Chaplain subsidy
- \* Rev Watanabe — Grandmother's Shotsuki contribution

Thank you very much in Gassho







# BULLETIN

## Please join the 8th Commemoration of the Great East Japan Earthquake and Tsunami of 2011

@ Sydney Mechanics' School of Arts 4 - 8 pm 11 Mar 2019



On 11 March, we once again commemorate all the deceased of the Great East Japan Earthquake and Tsunami of 2011 and support people who are still suffering in the effected area.

This year, we'll have this commemorative event in the heart of Sydney CBD, 280 Pitt Street, at Sydney Mechanics' School of Arts.

The event will be starting at 4pm and Rev Watanabe will be leading one minutes silent meditation at 4:46pm (2:46 pm Japan time). The event will be followed by a couple of film screening, one is "MARCH" and the other is "Life Goes On". Both movies are very touching story, so please join in!



2018 event at Crows Nest



Film "Life Goes Go".

Let us join the biggest volunteer event,

Clean Up Australia Day on 3 March



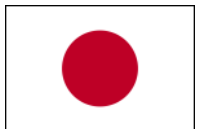
Clean up Australia Day 2018 at Lane Cove National Park



Japanese community members get together and clean up the Lane Cove National Park on 3 March from 9:30 -11:30, followed by BBQ picnic! Please join in! to this biggest volunteer event in Australia!



**Cowra Festival**  
of International Understanding  
GUEST NATION - JAPAN  
15-17 March 2019



## Festival of International Understanding will be held in Cowra 15-17 March 2019

This is a very unique celebration of peace, friendship and diversity to be held from 15 to 17 March 2019.

Japan is the 2019 guest nation for this unique three-day event. Many Japanese community group members will be joining this once in a lifetime event in the world famous "Town of Peace".



Last year's guest country was Nepal.



Nepal community members' parade 2018.

Actually Japan hosted in 1966 and this is the 2nd time as this year. Since Japan and Cowra has a long history since the World War II. As this year makes 75th Anniversary year of Cowra Breakout, there is a meaning for Japan to host for this year's event.

The main event for this weekend will be the street parade on Saturday. Many Japanese people, people who wear Japanese traditional Kimono, Yukata or Happi will be marching on the street of Cowra on that day! Which will be followed by stage performances.

Japanese Society of Sydney is organizing a bus tour for the weekend so if you wish to join this commemorative event, please join in!



## In the Embrace of Amida Buddha

Shinran, the founder of the Jodo Shin school of Pure Land Buddhism, was acutely aware of the pitfalls and perils that the untamed ego poses for each individual. In his *Hymns on the Dharma-Ages*, he writes:



Shinran Shonin  
(1173-1263)

**Ignorance and blind  
passions abound,  
Pervading everywhere like innumerable  
particles of dust  
Desire and hatred arising out of conflict  
and accord  
Are like high peaks and mountain ridges  
Sentient beings' wrong views grow ram-  
pant,  
Becoming like thickets and forests, bram-  
bles and thorns;  
Filled with suspicion, they slander those  
who follow the nembutsu,  
While the use of violence and poison of an-  
ger spread widely.**

We need not look very far in our world to see countless examples of humanity's ever-darkening descent into madness, cruelty, greed and despair. Just watching half an hour of news every night suffices to convince us of the depths of depravity to which our lives can sink when they remain unilluminated by the Buddha's wisdom. When confronted by so much unhappiness, fear and uncertainty, one may very well ask: "Can I be certain of anything in the world? On what can one truly depend in this life of endless vicissitudes?"

Shinran's answer was to exhort people to seek refuge in Amida, the Buddha of Infinite Light, in whom true liberation is to be found. In his *Hymns on the Pure Land*, he says:

**The light of purity is without compare  
When a person encounters this light  
All bonds of karma fall away  
So take refuge in Amida, the ultimate  
shelter.**

**The radiance of enlightenment, in  
its brilliance, transcends all limits;  
Thus Amida is called 'Buddha of  
the Light of Purity'.  
Once illumined by this light,  
We are free of karmic defilements  
and attain emancipation.**

Amida Buddha is the source of our ultimate happiness and His Land of Utmost Bliss is the true home to which we long to return after we leave this world. Being none other than Nirvana, the Buddha's realm is one of peace, joy and unutterable bliss. It transcends this world of grief yet also permeates it—through to its very core—grasping it and all its imperfections in an embrace that is unconditional. All we need do is to open ourselves to the ever-present working of Amida in our hearts and accept the liberation he offers from the nightmares created by our ego-centric drives and appetites which are never satisfied, however hard we may try to fulfill them. Shinran's message may seem stern and uncompromising at first but he is merely describing the world as he sees it; with wisdom and full objectivity.



Amida Buddha



Rev John Paraskevopoulos

In the end, His message is one of great joy which accompanies the certain knowledge that the Buddha, with inconceivable compassion, accepts us as we are and assures us of His transforming illumination and grace throughout our voyage into Eternal Life.



In Gassho,  
Rev. John Paraskevopoulos



truth of the Dharma, and in the practice of the Dharma. He who sees merely my body does not truly see me. Only he who accepts my teaching truly sees me."



The Parinirvana of the Buddha. Gandhara 2-3rd Century

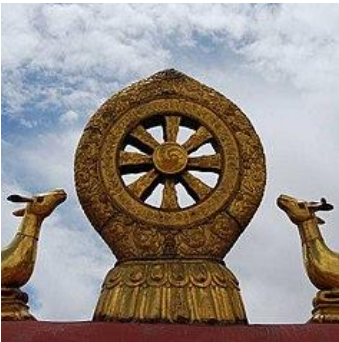
"After my death, the Dharma shall be your teacher. Follow the Dharma and you will be true to me."

"During the last forty-five years of my life, I have withheld nothing from my teachings. There is no secret teaching, no hidden meaning; everything has been taught openly and clearly. My dear disciples, this is the end. In a moment, I shall be passing into Nirvana. This is my instruction."

Sakyamuni Buddha was 80 years of age but still kept preaching to the people until his last moment. Ananda was usually only a disciple who was looking after Sakyamuni during His journey.

Sakyamuni said "I never thought that I am leading the whole group of Sangha, or all the Sangha members depend on me. Sakyamuni Buddha told his disciples to treasure his words, which is Dharma, and Buddha was always talking from same point of view as an ordinary Sangha member. This attitude is exactly the same as Shinran Shonin who said that;

"It appears that disputes have arisen among followers of the sole practice of the nembutsu, who argue that "these are my disciples" or "those are someone else's disciples." This is utterly senseless.



The eight spoke Dharma wheel symbolizes the Noble Eightfold Path

For myself, I do not have even a single disciple. For if I brought people to say the nembutsu through my own efforts, then they might be my disciples. But it is indeed preposterous to call persons "my disciples" when they say the nembutsu having received the working of Amida."

("Tannisho"-Chapter 6)

For forty-five years, the Buddha went about the country preaching and persuading people to follow his teaching. Sakyamuni Buddha's final journey was at Vaisali. On his way from Rajagriha to



## BULLETIN

Shravasti, he became ill and predicted that after three months he would enter Nirvana. Still he journeyed on until he reached Pava where he fell seriously ill from some food offered by Chunda, a blacksmith. Eventually, in spite of great pain and weakness, he reached the forest that bordered Kushinagar.



Lying between two large sala trees, he continued teaching his disciples until his final moment. Thus he entered into perfect tranquility after he had completed his work as the world's greatest teacher.

Sakyamuni Buddha passed away a long time ago, but his teaching still lives in the hearts and minds of all Buddhists, and it continues to spread all over the world.

As a follower of Jodo Shinshu (the true essence of the Pure Land teachings), we always express our gratitude and respect to Sakyamuni Buddha to remind us that we share his noble teachings, and that we follow the way he laid down for us to walk. Without Sakyamuni Buddha's teaching, Buddhism would not be here with us today. We have to deeply appreciate His work, and spread His teachings. Shinran Shonin said that Sakyamuni Buddha is the manifestation of Amida Buddha on this earth. In the Shoshinge, Shonin wrote as follows:

*"The reason for Tathagata (Sakyamuni Buddha)'s appearance in this world is solely to preach the ocean-like Original Vow of Amida. The ocean of multitudinous beings in the evil age with five defilements should believe in the Tathagata's true words."*

Let us reflect upon Sakyamuni Buddha's noble teachings, paying our tribute and following the way that he laid down for us.

Thank you Ms Tsuna Hisada and Nao for attending this service. Your presence made this commemorative day so special!

We all hope to see you again in near future.

In Gassho  
Rev Shigenobu Watanabe



# BULLETIN

Volume 19 - No. 2  
February 20, 2019

Hongwanji Buddhist Mission of Australia



PO Box 292 Lindfield (Sydney)  
N.S.W. 2070 AUSTRALIA  
Phone : (02) 9403 1256  
Mob : (0412) 396 014  
Email : hbma@optusnet.com.au  
http://www.hongwanji.com.au

We welcomed special guests from Japan on  
**Nirvana day / Nehan-e**  
10 February 2019



We welcomed Ms Tsuna Hisada (left end), Executive Director of the Hansho-An / Tea House, Kyoto on Nirvana Day Service. Front row (L-R) Ms Tsuna Hisada, Ms Hiroko Okuyama, Rev Watanabe, Ms Ayako Mitsui-Browne, and Miss Nao Hisada. (10/02/19)



On 10 February, we held our annual Nirvana Day service. On this special day, we welcomed special guest, **Ms Tsuna Hisada**, Executive Director of the Hansho-An (tea house) cultural foundation in Kyoto, and her daughter, Miss **Nao Hisada** who is studying in Melbourne, so her mother came to visit her daughter. Then, they came to see Ms Ayako Mitsui, Tsuna-san's aunt on that weekend and together they came to attend the HBMA service.

We commemorated the passing of Sakyamuni Buddha, the founder of Buddhism on this occasion of our Nirvana Day service.

After chanting the sutra, we all offered incense. Then I shared a Dharma message about the last moments of Sakya-



When Shakyamuni Buddha passed away, all disciples and animals in the forest gathered together and lamented.

muni Buddha. At the moment of his death, Sakya-muni was lying down between the twin Sala (or Pip-pala) trees in Kushinagar surrounded by his disciples and many animals.

## Inside This Issue

Nirvana day Service with special guests	1-2
Dharma message from Rev Paraskevopoulos	3
8th Year commemoration service	4
Clean up Australia, Cowra Festival in March	4

Buddha entered parinirvana on the fifteenth day of February some 2500 years ago in Kushinagar, in the northern part of India.

I would like to share Buddha's last moments by introducing the story from 'The Teaching of Buddha'.

*"My disciples, my end is approaching, our parting is near, but do not lament. Life is ever changing; nothing can escape the dissolution of the body. This I am now to show by my own death, my body falling apart like a dilapidated cart."*

*"My disciples, my last moment has come, but do not forget that death is only the end of the physical body. The body was born from parents and was nourished by food; just as inevitable are sickness and death."*

*"But the true Buddha is not a human body: - it is Enlightenment. A human body must die, but the Wisdom of Enlightenment will exist forever in the*



In front of Shakyamuni Buddha's statue of Nirvana. (2015 in Bangkok)

(Continues on page 2)

## NIRVANA=涅槃 (Perfect Tranquillity)

Literally, Nirvana means, "to blow out." This is the state where all human defilements and passions have been completely extinguished through certain practices and meditation based upon Right Wisdom. Those who had attained this state are called Buddhas. Gautama Siddhartha had attained this state and became a Buddha at 35. However, it is thought that it was only after he had passed away that he reached such a state of perfect tranquillity, because some residue of human defilement would have continued to be present as long as his physical body existed.